第66期決算公告

千葉県野田市中根56－1
株式会社　相澤
代表取締役　柳　允

第　66　期　貸　借　対　照　表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	**156,744**	**流動負債**	**180,595**
現金及び預金	92,015	買掛金	85,515
売掛金	55,857	短期借入金	90,000
商品	6,333	未払金	2,733
前払費用	555	未払法人税等	1,436
未収入金	1,982	未払消費税等	907
固定資産	**286,739**	預り金	2
有形固定資産	**211,589**	**固定負債**	**4,970**
建物	30,687	繰延税金負債	4,970
構築物	1,052	**負債合計**	**185,566**
車両運搬具	0	**純資産の部**	
工具、器具及び備品	34	**株主資本**	**246,589**
土地	179,815	**資本金**	**16,000**
無形固定資産	**2,839**	**利益剰余金**	**230,589**
ソフトウエア	1,571	利益準備金	10,000
電話加入権	1,268	その他利益剰余金	220,589
投資その他の資産	**72,309**	繰越利益剰余金	220,589
投資有価証券	20,038	(当期純利益)	(10,815)
敷金及び保証金	52,204	**評価・換算差額等**	**11,327**
繰延税金資産	66	**その他有価証券評価差額金**	**11,327**
破産更生債権等	23,313		
貸倒引当金	△ 23,313	**純資産合計**	**257,917**
資産合計	**443,483**	**負債・純資産合計**	**443,483**

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項の注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券・・・・・・・・・・・期末決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法）によっております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法・・ 総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）・定率法を採用しております。
ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年４月１日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。
また、有形固定資産の取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、３年間で均等償却する方法を採用しております。
なお、平成19年３月31日以前に取得した資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から５年間で均等償却する方法によっております。

②無形固定資産（リース資産を除く）・定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウエアについては、社内における利用可能期間（５年）に基づく定額法を採用しております。

③リース資産・・・・・・・・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・・・・・・貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理・・・・・・・・ 税抜方式によっております。